



博物館学校地域連携
教育支援事業

メールマガジンWebページ

NEWS



YAMAGUCHI MUSEUM
山口県立山口博物館

開館100周年記念マスコットキャラクター なっとくん

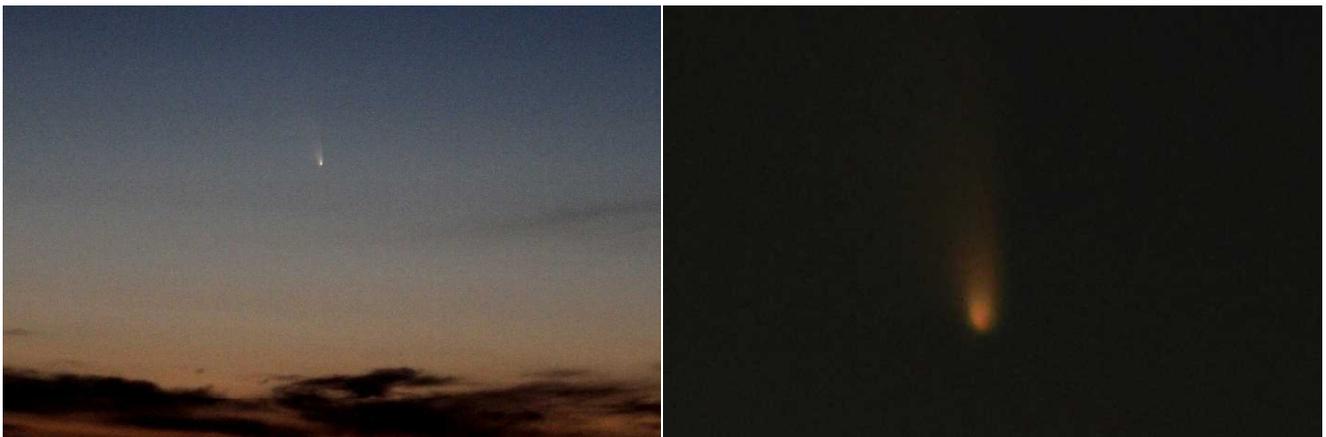
2013年3月(10号)

見えました！パンスターズ彗星



9号(前回)のメルマガでご紹介しましたように、今年は二大彗星(パンスターズ彗星、アイソン彗星)が到来する「彗星の年」となりそうです。先日、萩の笠山にてパンスターズ彗星を観察することができました。パンスターズ彗星は、ハワイのマウイ島にある「Pan-STARRS1 望遠鏡」により2011年6月6日に発見されたものです。この彗星の接近で有名になった「パンスターズ計画」は、ハワイ大学の天文研究所などによる大規模な掃天計画です。地球に大接近する小惑星や彗星を発見し、その特徴を調べようとするものです。

残念ながら、当初の予想より明るくなっておらず、肉眼での観察は容易ではないようですが、双眼鏡を使えば、もうしばらくの間は、日没後の西空の低い位置にパンスターズ彗星を見つけることができます。また、4月以降には、明け方の北東の方角でも観察が可能です。この彗星を観察できるのは今回限りです！皆さんもチャレンジしてみてくださいませんか？



(2013年3月15日19時15分ころ 萩市笠山山頂付近にて)

4・5月の行事案内

- 2013年テーマ展 第1弾！！

植物画でみる日本の固有植物

4月12日(金)～5月12日(日)

『日本植物園倶楽部の会員が揃った「日本の固有植物」の細密画と、その実物標本を同時に展示し、比較しながら鑑賞していただきます。あわせて、山口県や海外の固有種の実物標本も展示します。』

★世界一大きなタネ「メタゴマン」
★世界一大きなマツボックリ「ナガミマン」他

- 5月12日(日) 春の自然観察 ・ ・ 春の動植物の識別や観察方法を習得する
時間 9:30～12:30 場所 萩市 要申込(20名)
- 5月18日(土) 博物館ツアー ・ ・ 100年を超えた博物館の歴史や展示の裏側をさぐる
時間 13:30～15:00 場所 当館 自由参加

考古・歴史展示室 常設展示を更新しました。

豪族が莫大な富と権力をもとに、多大な労力を使って造った古墳からは、たくさんの副葬品が出土します。今回の考古常設展示では、山口市天神山古墳で出土したほぼ完形に近い短甲や山口市赤妻古墳から出土した銅鏡など、管玉、武具、武器、農具などを展示しています。古墳時代の出土品からわかることにスポットをあてたものとなっています。

2018年（平成30年）は、明治に改元されてから150年の年となります。それに先立ち、歴史常設展示では幕末の文久3年（今年から150年前）の出来事である山口移鎮（藩庁の萩から山口への移転）、長州ファイブ渡航、奇兵隊結成、七卿落ちなどの関係資料を展示しています。

また、3月2日（土）からの「山口お宝展」に協賛し、「幕末維新期の志士たちの交流」というテーマで、吉田松陰書状や木戸孝允が周布政之助がお酒を飲み過ぎることを諷めるために、ユーモアを交えて描いた「木戸孝允戯画（君子之眼 小人之眼）」などの資料を4月7日（日）まで展示しています。是非、ご来館ください。



出土した銅鏡・管玉



剣道の胴のような形をした短甲(武具)



七卿落ち図



周布家旧蔵の烏帽子型兜

1年間ありがとうございました。

昨年の4月、「自分たちに務まるだろうか？」と大きな期待と不安を抱きつつ勤務を始めた3人（中川、河野、角田）ですが、3月末をもって研修期間が終了し、4人の新MT（ミュージアム・ティーチャー）に引き継ぐこととなりました。お陰様で、本年度の博物館学校地域連携教育支援事業報告書にお示したように出前授業延べ約1万9千人、来館利用約6千人、合計2万5千人を超すご利用をいただきました。

この一年間、博物館で研修できたこと、多くの子供たちや地域の方々と出会えたことは、私たちの一生の宝物になりました。今後、その宝物を次の現場で子供たちに、また、多くの先生方に伝えていきたいと思っております。ありがとうございました。